

○「令和2年度飼料用米多収日本一コンテスト表彰式」を開催しました

農林水産省及び一般社団法人日本飼料用米振興協会は、飼料用米の生産に取り組む農家の生産技術の向上を図るため「飼料用米多収日本一」コンテストを平成28年度から開催しています。

また、上記コンテストにあわせて、茨城県及び鹿島地域飼料用米生産利用推進協議会では、応募した県内の飼料用米生産者を表彰する独自のコンテストを実施しています。

令和2年度、鹿行地区では、鉾田市の木村孝正さんが「鹿島地域飼料米生産利用推進協議会長賞」を受賞したことから、表彰式を鹿行農林事務所において令和3年3月18日に行い、木村さんに県農業再生協議会事務局より賞状を授与しました。

*当初は、「需要に応じた米生産・販売に係るシンポジウム」（令和3年1月29日開催予定）において表彰予定でしたが、県独自の緊急事態宣言を受け、シンポジウムが中止となったことから、表彰式を鹿行農林事務所において開催しました。

○受賞者からのコメント

「JAのアドバイスにより平成26年から飼料用米生産に取り組み始めた。飼料用米生産のこだわりとして、株間を広くとり風通しを良くした上で施肥を行い、しっかり中干しを実施している。飼料用米に取り組むメリットとして、国の交付金による収入の見通しが立てやすい。自分の努力により収量が上がることで、助成額も増えるので、800kg/10aを目標にして頑張っていきたい」



なお、木村さんは、令和2年度「飼料用米多収日本一」コンテストにおいて関東農政局長賞も受賞されています。

鹿行農林事務所では、飼料用米の生産技術向上について今後も支援してまいります。